

今回は、ドローン撮影実習の報告です。

◇ 観光動画製作中のグループが、ドローン撮影にチャレンジしました！

日程： 2020年10月24日(土) 場所： 関市内 美濃市内
参加者： 1年生2名 2年生3名 協力： 株式会社ROBOZ

◇ ドローン撮影とROBOZ

ドローン技術は日々進化し、産業や防災、農業、建設など、幅広い分野で利用されています。いまや不可欠なツールといっても過言ではありません。ドローンのもうひとつの魅力は「操縦したり、見たり、遊んだり」。面白く役立つ小型電子機器の一種としての側面ももっています。行政や企業の活動、教育分野においても「ドローン教室」を開催するなど、昨今話題のドローンを、FRHの活動にも活用できないか。今回は、そうしたドローンの操作法を実際に教えていただく機会を試験的に設けました。受講した生徒は5名。FRH活動の一環として、観光動画を製作している生徒です。プロの指導を受けながら、またたく間に操作を習得し、関市・美濃市の空からの俯瞰動画、関高とその周辺の遠景の撮影に成功しました。

<活躍する卒業生> ～ 石田宏樹氏の紹介 ～

ROBOZ代表の石田宏樹さんは関高卒業生。名古屋大学工学部中退後、大手学習塾チェーンの経営陣としてフランチャイズ展開やM&Aに従事。その後、経営コンサルティング会社を渋谷区神宮前に設立。同時期、故郷郡上に「エア式ゲートバー」のメーカーを立ち上げ特許取得。高速道路ETCゲートでは全国シェア約7割。2017年、ドローン事業展開のため、株式会社ROBOZを設立。参加した生徒たちにとっては、ドローンの操作はもちろん、性能や可能性について、わかりやすく説明してくださる気さくな先輩でした。

